



東京都社会福祉事業団



東村山福祉園だより

平成31年 1月発行  
(社福) 東京都社会福祉事業団  
東京都東村山福祉園

メール mail@higashimurayama-f.org ホームページ http://higashimurayama-f.org

## 2019年新年のご挨拶

園長 高岸 聡子

あけましておめでとうございます。利用者、ご家族の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、仮設建物で迎える初めての正月月でした。手狭ながらも、ドライブや散歩、ボウリング大会、カラオケ大会、年賀状作り、書初め、手作りクッキングなど、職員がいろいろと活動のプログラムを工夫し、利用者の皆さんも楽しい冬休みを過ごせたのではないかと思います。

私も元旦に出勤し、利用者の皆さんに新年のご挨拶をしましたが、テレビの大学駅伝の真似をしてユニット内を走り回ったり、クリスマスプレゼントのおもちゃや本で楽しんだり、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。

現在園では、5月まで生活していた旧園舎の解体工事が着々と進んでおり、これから本設建物の建設に向け、実施設計も具体化していくことになっています。

ご家族の皆さま、地域の皆さまや特別支援学校等の関係機関の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、利用者の皆さんが安心して、楽しく生活できるよう、より良い施設づくりに職員一丸となって取り組んでまいります。今年もどうぞよろしく願いいたします。

## クリスマス会を開催しました

児童発達支援管理責任者

平成30年12月16日(日)にクリスマス会を行いました。当日は二部構成で前半にはボランティアの方たちによる、「指人形」と「マンドリンコンサート」を行い、子どもたちも歌を口ずさみ楽しく過ごすことができました。後半はユニットごとに茶話会やカラオケ大会、サンタさんからのプレゼントタイム等、子ども達が楽しむ企画を計画しました。また、多くのご家族やボランティアの方にもご協力いただき素敵な時間を過ごすことができました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました！！



## 宿泊旅行（群馬県伊香保）に行ってきました

宿泊担当 渡邊 亨

平成30年10月28日（日）から1泊2日で伊香保方面へ宿泊旅行に出かけました。行楽シーズンでしたが、大きな渋滞にも合わず予定通りの行程で移動することが出来ました。天候にも恵まれ、雄大な山の景色を眺めることができました。

初日は有名なこんにやくパークを訪問しました。工場でこんにやくやゼリーを作っているところを見学し、ゼリー作り体験ではそれぞれ思い思いのフルーツを詰めたゼリーを作りました。温めたゼラチンをお玉でかき混ぜることもできました。出来上がったフルーツゼリーはお土産に持ち帰り旅館での夕飯に頂きました。旅館では大浴場で大きなお風呂につき、夕飯のバイキングを楽しみました。

2日目はグリーン牧場で動物とふれあいました。利用者の一人に以前訪れたことのある方がいらっしゃり、その時は、動物が苦手だったと聞いていましたが、今回は嫌がる素振りもなく触れ合ったり柵越しに餌を上げたりしていました。旅行中に写真を撮影している際に利用者が「僕も撮りたい」とカメラマンになる事もありました。被写体の人物の位置を細かく手ぶりで指示したりと名カメラマンぶりで撮れた写真も素晴らしいアングルの物が多くありました。その後、スカイランドパークに移動し乗り物

に乗ったりと楽しい2日間を過ごすことができました。



## 宿泊旅行（群馬サファリパーク）に行ってきました

宿泊担当 佐々木 美幸

平成30年11月25日（日）～26日（月）に小学生・中学生の利用者13名が群馬方面へ宿泊旅行に行かれました。幸い天気にも恵まれ、「文化むら」というところで、電車に乗ったり、「群馬サファリパーク」ではライオンなどの大きい動物を見たり、ウォーキングエリアでは小動物に触れあうことが出来ました。ミニ遊園地もあり、小学生の方はトーマスの電車や観覧車などに乗りました。

絶叫系が好きな方は、ジェットコースターに乗っている方もいました。昼食には、名物の横川の釜めしを食べました。簡保の宿「磯部」ではお料理を美味しくいただきました。自慢の温泉はのんびりゆったり入れて、お部屋も広くとても良いお宿でした。もし機会があったら、ぜひ行って頂きたいです。時期的には少し肌寒



い陽気でしたが、皆さん元気に行ってこられたのが、何より良かったと思います。園長やグループリーダー、看護師さんが同行してくれて、色々フォローしてもらいました。ありがとうございました。



## バスハイクで森林公園に行ってきました

バスハイク担当 志村 直紀

平成30年11月10日（土）に国営武蔵丘陵森林公園に行ってきました。好天に恵まれ、立冬を過ぎた空は高く園内の楓やイチョウがまぶしくらいに色づいていました。園内を暫く散策した後は、お楽しみのランチタイムです。さわやかな秋風を感じながら、バラエティー豊かなメニューの中から「カツカレー、オムハヤシ、ダブルハンバーグ、ソースカツ丼、ピザ、アイスコーヒー、ポテト、ソフトクリーム」などを皆さん、とてもおいしそうに召し上がっていました。食後は帰りのバスの時間まで、自由な時間を過ごしていただきました。売店で買い物をする方や噴水をジッと見つめて時々笑顔を浮かべる方など、それぞれの時間を過ごしていただきました。時々、野鳥のさえずりや越冬を迎える百舌の鳴き声が、一層季節の移ろいを感じさせます。

楽しい時間は、あっという間に過ぎ、たのしい思い出を胸にかかえた皆さんは静かにバスに乗りしていきます。

バスに揺られながら、車中では車窓から景色に見入る方や車内のDVDを満喫している方も見受けられました。今回のバスハイクは今年度最後のバスハイクになります。園に着いた利用者の笑顔を見ると、

「来年度もたのしいバスハイクを企画したいな」と思う担当でした。



## バイキング昼食を楽しみました

管理栄養士 清水 由美子

平成30年12月26日（水）と1月7日（月）に、1階、2階とグループ分けをして、全員がバイキング昼食を楽しみました。メニューは子供たちが大好きなソーセージ入りピラフ、チーズたっぷりグラタン、ソーセージ、唐揚げ、ハンバーグ、フライドポテト、サラダ、ス

ープを用意しました。彩りよく盛り付けた大皿料理の中から、それぞれが好きなメニューを選んでいきます。デザートは、この日のために購入した綿あめマシンとポップコーンマシンを使い、出来立ての綿あめとポップコーンを用意しました。

綿あめは初経験だったAさんは、初めはぎゅっと握りしめていましたが、おそろおそろ食べてみたらおいしくて、何度もおかわりしていました。甘いものが苦手なBさんは、ポップコーンがお気に召したようで、香ばしいバターの香りに誘われて、お料理より先にデザートまで一直線でした。夏休みのバイキングの経験と重なって、とても落ち着いて食事を楽しんでいました。いつもは苦手な野菜料理もしっかり残さず食べました。



## 東村山福祉園 園内研究発表会を開催しました

生活支援第2 GL

平成30年12月11日(火)に仮設建物へ移行して初めての園内研究発表会を開催しました。今年度は福祉型障害児入所施設へ完全移行したことに伴い、各ユニットの利用児童に対する支援内容についての研究発表と、健康推進科からは職員の手指衛生に焦点を当てた発表がありました。当日は事業団本部から理事長・担当課長が来園され、貴重なご意見・ご質問をいただきました。

今年度の研究発表のポイントとしては、仮設施設に移行して支援体制も大きく変わったことから、チームによる統一した支援と職員・職種間の連携の必要性と重要性について提起されたものが多くあったことがとても印象的でした。

今回の研究発表で出されたものは、全てが今後も継続した支援を行っていく内容となっておりますので、更に職員として研鑽を積み、より良い支援に繋げていくことができるよう取り組んでまいります。

東村山福祉園では、今回の事例研究発表会で最優秀賞となった事例を、平成31年2月1日(金)に開催される事業団の事例研究発表会に出させていただきます。

更に当園のホームページ上でも今回の研究発表についてダイジェスト版を準備ができ次第アップしていきますので、お時間がある時にご覧いただけるようお願いいたします。

